

Kyoto Institute for
Regional Prospects

KIRP NEWS LETTER No.17

NEWS

地域創生を学ぶ学生の地域ボランティア活動

地域創生COC+学生チーム「宮津グルメマップ」を作成

「地域創生COC+学生チーム」では、2018年度から講義とは別に自主的に、京都府北部地域の魅力を発信し地域に貢献するため活動を実施しています。宮津市で昨年10月に開催されたグルメ合戦2019に学生チームがボランティアとして参加させて頂いた際に、美味しいお店がたくさんあるのに、広く知られていないことに気づき、学生目線で気に入ったお店を訪問し取材し、発信しようということになりました。そこで、宮津商工会議所青年部様のご協力を得て、12月に2回生（当時）3名が、学生目線で厳選した宮津の飲食店6店舗を取材し、その後、講義やバイトの合間を縫って何度も集まって作業し、3月の春休みによりやく「宮津グルメマップ」を完成しました。しかし、新型コロナウイルスの影響で広くお知らせすることができませんでした。

このたび、感染の自粛要請が徐々に解除されてきたことにともない、宮津市内の飲食店の応援になればと、宮津市のホームページにアップすることにしました。

■宮津市HP

http://www.city.miyazu.kyoto.jp/open_imgs/info/0000016724.pdf

宮津グルメマップ

KIRPについて

京都地域未来創造センター（KIRP）は、京都府立大学の「知」を活かし、地域の未来を創るための拠点として発足した地域に向けた総合窓口です。共同研究、受託研究等に関するご質問、ご相談があればお気軽にお問い合わせください。

Tel : 075-703-5390
Fax : 075-703-4979
mail : kirpinfo@kpu.ac.jp
HP : <http://www.kpu.ac.jp/>

〒606-8522
京都市左京区下鴨半木町1-5
稲盛記念会館 1階

京都府立大学
京都地域未来創造センター
KYOTO INSTITUTE FOR
REGIONAL PROSPECTS



NEWS

【共催】第8回京の公共人材大賞

最終選考・プレゼンテーション大会&表彰式 開催報告

3月よりコロナ感染防止のため延期になってしまった第8回京の公共人材大賞 最終選考・プレゼンテーション大会&表彰式が7月5日（日）に関係者のみの小人数で京都府立京都学・歴史館にて開催されました。限られた時間でしたが、9人のプレゼンターの方の熱量が伝わってきて、これからのソーシャルデザインのヒントが詰まっていた。

【審査結果】	最優秀賞	ハッカライネン・ニーナさん（外国人女性の会 パルヨン）
	スポンサー賞	大塚公平さん（NPOキングコブラ会）
	選考委員特別賞	小島拓也さん（irodori）
	選考委員特別賞	湯川久仁彦さん（子どもたちによる子どもたちのロボット教室）

京の公共人材大賞とは

「京の公共人材」とは、京都府内において、産学公NPOそれぞれのセクターの壁などあらゆるハードルを乗り越え、自ら課題解決のために、活躍する人材のことです。「京の公共人材大賞」実行委員会は、そんな地域のつなぎ人（びと）、コトおこし人（びと）を「京の公共人材」として表彰するために、「京の公共人材大賞」を平成23年度より実施しています。



表彰式の様子

NEWS

【京都知恵産業創造の森主催】産学連携オンライン講座

「コロナの時代を生きる」塚本康浩 学長 講演

「ウイルス研究者の取り組みやこれから生きるためには」をテーマに塚本学長によるオンライン講演が7月10日（金）に開催されました。定員を大幅に上回る200人以上の方から申し込みがありました。学長は、ウイルスと人類の共存の歴史、感染経路、感染症対策などから、ダチョウ抗体の研究をマスク開発に活かすための課題や工夫等を経験談も交えて、参加者からは「ダチョウマスク開発の課題」、「新種のウイルス発生の可能性とその対応」など多くの質問が寄せられ、この問題に対する社会の関心の高さを感じました。

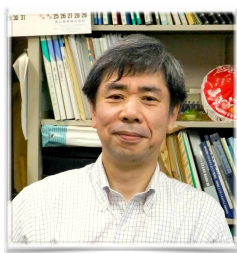


参加者のアンケートでは、ワクチンの早期開発への期待や、学長の人柄やダチョウ愛が伝わる講演であったとの感想が寄せられました。

リエゾンオフィス便り

京都地域未来創造センター 産学連携リエゾンオフィス長の紹介です

生命環境科学研究科 増村威宏 教授



リエゾンオフィス長
増村 威宏

生命環境科学研究科 教授

4月から京都地域未来創造センターの中にあるリエゾンオフィスの所長／精華サテライトオフィス長を務めさせて頂くことになりました、どうぞ宜しくお願いいたします。

私の研究はイネ（米）を対象としており、産学公連携の際はリエゾンオフィスに大変お世話になりました。

スタッフの皆さんはとても熱心で、親切です。産学公連携を考えている教員の皆様、どうぞリエゾンオフィスをご活用ください。現在、塚本学長と相談しながら、リエゾンオフィスの更なる機能強化を検討しておりますので、ご意見ありましたらどうぞご連絡ください。

また、私は精華キャンパス長／附属農場長も兼務しておりますので、地域貢献活動などで農場と連携したいというご相談も大歓迎です。長い歴史を持ちながらも、小回りの効く京都府立大学の強みを活かし、どんどん前に出て行きましょう。

新型コロナウイルス感染予防の 木製パーティションを学生が製作

森林科学科の学生が、森林ボランティアサークル「森なかま」と協働して、新型コロナウイルス感染予防のため、木製パーティション12台を製作、視聴覚教室に設置しました。

学生窓口用や学生実験室のパーティションも作成し、学内の感染防止に大きな貢献をしています。緊急時に簡単かつ大量に生産できるよう、木材・ビニール以外はビスと両面テープしか使わない手法で、また、環境に配慮し、主に京都府産材使用の合板や、実験や実習で使用後の本学演習林の木材を使用するなど、工夫が凝らされています。

学生の作業の様子▼▶



KIRP新メンバー



KIRP学生ラジオ部会かぶらじ

コロナ対策広報で頑張る！

毎月第4金曜日の22時に京都三条ラジオカフェから京都地域未来創造センター学生ラジオ部会がラジオ番組をお届けしています。

パーソナリティーは全員が京都府立大学の大学生。府大に興味がある中高生に、地域の方に、学生目線で府立大学や地域のホットな話題を発信します！

☆コロナ禍で登校できずに不安な1回生に聞いてほしい！

6月・7月は「コロナ禍で登校できずに不安な1回生に、少しでも大学の雰囲気伝えたい。」という思いで、新入生へのリモートインタビューを通じて、大学を紹介しました。

6月は、授業や学祭の雰囲気、アルバイトやサークル活動についてなど、「新入生の??」にお答え。7月は特別に許可を得て新入生とキャンパス内を探検。エミューが散歩してる?！（でも、会えなくて残念）、パンやパフェの美味しいカフェがある！（でも、食べられなくて残念）、府立植物園への直通の門がある!・・・など、2回生以上の方も「新入生の!!」を、懐かしい気分でお楽しみください。

放送予定：毎月第4金曜日 22:00～22:15

☆放送内容はこれから

ポッドキャスト(音声)および動画でいつでも聴くことができます。
京都三条ラジオカフェ <http://radiocafe.jp/201211001/>

お悩み・質問は、かぶらじ公式Twitterにて受け付けます！
ぜひ、お気軽に質問して下さい♪

★Twitter→@kpukpu_radio



◀リモートインタビューの様子



藤原 茂樹/公共政策学部 准教授

今年4月に、京都府からの実務家教員として京都府立大学公共政策学部にまいりました藤原と申します。京都地域未来創造センターでは、企画調整マネージャーを務めさせていただきます。

微力ではありますが、京都府での実務経験を活かして、本センターが京都府の知の拠点として、府民、NPO、行政、企業等と連携して教育・研究を推進し、その成果を広く府民や社会に還元し、地域の文化及び産業の振興並びに地域社会の発展に寄与できるよう頑張ります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

長田 萌/研究員

精華町からの市町村派遣職員としてこの4月から京都地域未来創造センターで勤務することになりました長田と申します。これまで、税務課において固定資産税の課税業務を中心に町行政に携わってきました。入庁して3年目と社会人としても知識不足な点が多く、着任して以来、日々、難しさを痛感しているところです。

その一方で、センターの職員として、京都府立大学の先生方の多種多様な研究に触れ、一步離れた目線に立つことで、今までは踏み込むことができなかった、様々な地域の財政・環境・歴史やその横の繋がりについて、自分自身の探究心を強く意識するようになった変化も感じています。

限られた期間ではありますが、知識を一つでも多く吸収し、より良い地域づくりに貢献できる人材になれるよう経験を積んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。